

## 第15回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

1 開催日時 令和2年1月30日（木）午後3時15分～4時15分

2 会場 山形商工会議所 5階 会議室

3 出席者

(1) 本部員6名

山形市長		佐藤 孝弘
山形商工会議所	会頭	後藤 完司
山形市中心商店街まちづくり協議会	会長	船山 隆幸
山形市観光協会	会長	平井 康博
山形大学	教授	山田 浩久
城下町やまがた探険隊	代表	新関 芳則

(2) 山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

まちづくりプラン研究所	代表	牧 昭市
-------------	----	------

(3) 事務局15名

商工観光部長、山形ブランド推進課長、山形ブランド推進課課長補佐、  
街なか・商業グループ員（2名）、山形商工会議所（5名）、  
山形エリアマネジメント協議会（2名）、  
山形商工会議所まち賑わい委員会委員長、  
山形市中心商店街街づくり協議会幹事

4 傍聴者

記者：4名

5 内容

(1) 協議

- ・令和2年度からのまちづくりにおける推進体制及び所掌事項の変更（案）について

(2) 報告

- ・令和元年度の事業の進捗状況について

6 資料の名称

- ・資料1 令和2年度からのまちづくりにおける推進体制及び所掌事項の変更（案）について
- ・資料2 令和元年度の事業の進捗状況

- ・資料3 令和元年度相談者出店マップ
- ・資料4 山形市補助金活用店舗紹介
- ・資料5 準学生寮プロジェクト
- ・資料6 令和元年度市民アンケート調査結果
- ・資料7 令和2年度事業計画について

## 7 議事録

### (1) 開 会 (山形ブランド推進課長)

### (2) 山形市長あいさつ

先般、大沼デパートが営業停止をするということがあった。山形市も関係機関と連携をしながら、対応に全力を挙げていきたい。中心市街地の集客の核の一つであったことは間違いないので、戦略本部においても今後議論をしていかなければいけないと思っている。

配らせていただいたのは、1月28日付けで山形市からメディアにお知らせしたリリースのペーパーになる。端的に当面の支援措置についてまとまっているので、参考にしていただければ。大沼の元従業員の方の再就職への応援、大沼に出店されている皆様のテナントの移動、空き店舗の紹介、取引企業への様々な融資を含め、あらゆる手段を講じて対応していきたい。

この問題は短期と中長期に分けて考えていくべきと考えており、まずは短期的な対策に全力を挙げたいと思っている。中長期的には、大沼デパートがあった場所は、まさに街の真ん中なので、どのように活用していくのが望ましいのかという議論をこうした場でも話し合っていきたいが、まずは目の前の課題について当面の緊急対策に集中したいと考えているので、ご理解の程よろしくお願ひしたい。

今日は様々なまちづくりを推進するうえで、エリアマネジメント協議会等の推進体制の件と、現状のグランドデザインの進捗状況等を確認し合うとともに、来年度の様々な事業についても協議をする場とさせていただければと思う。

### (3) 議事録署名人の指名 (本部長)

山田 浩久 本部員  
新関 芳則 本部員

### (4) 協 議

座 長	令和2年度からのまちづくりにおける推進体制及び所掌事項の変更(案)について、戦略本部事務局より説明をお願いします。
事 務 局	資料について説明。 (約5分)

座 長 エリアマネジメント協議会を実際に立ち上げて、運用していく中で、統合した方がよりやりやすいということで、再編の提案があった。この内容についてご意見等あればお願いしたい。

本部員一同 意見なし

座 長 これは実務的な部分で出てきたものであり、こうした新体制の下、推進をさらにしていきたいと思うがよろしいか。

本部員一同 異議なし

#### (5) 報告

座 長 (1) 令和元年度の事業の進捗状況について、戦略本部事務局より説明をお願いします。

事務局 「中心市街地グランドデザインにおける戦略プロジェクトの進捗状況について」説明。  
(約12分)

座 長 各種報告についてのご質問、ご意見等あればお願いしたい。

本部員一同 意見なし

座 長 コーディネーターからコメントがあればお願いしたい。

コーディネーター 確認だが、キャッシュレス決済の(4)調査結果 ①キャッシュレス決済対応済の店舗372件に対して、③加盟店登録をしているか確認しているところを足すと280件にしかない。90件くらい少ないがどういうことか。

事務局 資料には掲載していなかったが、不明の件数になる。

コーディネーター 370件に対して90件が不明となるとパーセンテージが高すぎる。もう少し店舗と寄り添いながら深掘りしていただきたい。

出店サポートセンターの相談回数が361回で実数が57件ということなので、1件あたり5~6回来ていることになる。それぞれの対応状況について、本部員の皆さんにもご理解いただいた方がいいと思うので、どこかのタイミングで具体的な内容も報告していただければと思う。

座 長 (2) その他 令和2年度の事業計画について事務局より説明をお願いします。

事 務 局 「令和2年度事業計画について」説明。  
(約5分)

座 長 方向性については8月の戦略本部会議でご了承いただいているが、ただいまの説明についてご質問、ご意見等あればお願いしたい。

本 部 員 やまがた街なか出店サポートセンター事業の「(1) 空き店舗・空き事務所・空き家の収集」は、令和元年度に行った出店する側の調査に対して、所有者側の調査と考えてよいか。  
不動産事業者や所有者と連携しとあるが、どのように連携しているのか。

事 務 局 その通りである。  
不動産事業者との連携については、出店サポートセンターの提携不動産となっている事業者が40社近くある。協議会から不動産事業者に情報を取りにいかないと出してもらえなかったこともあるが、空き店舗に出店誘導をかけていったり、出店実績が出てくることによって、不動産事業者の方から情報提供がくるようになりつつある。  
所有者については、日々街に出て行き、所有者と会話をする中で情報をもったり、事業の希望や提案をいただいている。

本 部 員 出店する側の相談は受けているが、所有者側からの相談を受ける窓口がないように感じる。不動産事業者に相談している所有者は不動産事業者が代弁してくれるが、相談していない所有者というのが、物件を貸すか貸さないか意思を決めかねている層だと思うので、この方々に対して窓口になるような部分というのは考えているのか。

事 務 局 現状としては、エリアマネジメント協議会で直接所有者にあたる手法になる。実際に話しをして、不明から不明ではなくなっている件数もある。  
協議会は不動産の資格を持っていないため、相談を受けても不動産事業者を介した貸し出しという契約形態を取らざるを得ない。不動産事業者と連携をとり、気になる物件があれば、調べてもらって契約するパターンもある。今のところ、所有者

側からの相談を受けても契約まで持っていくことはできない状況なので、不動産事業者との連携が一番必要ということで対応している。

本 部 員 長期的に見たときに、今後まちづくり会社を作る場合でも宅建部門は必要だと思うので、検討していただければと思う。

事 務 局 所有者からの相談窓口としてもPRし、なるべく情報が集まるよう対応させていただきたい。今後新たなPR方法も考えていきたい。

本 部 員 宅建協会との連絡はなっているのか。

事 務 局 エリアマネジメント協議会の構成員にも入っており、連絡はとれている。

座 長 出店サポートセンターについては、大沼デパートに入っていたテナントが引き続き街なかで商売をしたいというニーズがあると思うので、この辺りも尽力いただきたいと思います。

本 部 員 協議会であっせんの際は直接出せないとのことだが、親身に何回も相談にのってくれ、いいテナントを紹介してくれたという貸主の評判もある。口コミではないが、上手にPRして「貸す意思なし」や「不明」の部分を変えていただきたいと思います。エリアマネジメント協議会という後ろ盾は、貸す方としても安心感があるので、宅建部門を充実させて、紹介したり相談にのったりできるようになると、空き店舗がますます減るのではないかと感じている。

本 部 員 「6 新規事業」の昼間交流人口増加の促進は大切だと思う。城下町探険地図にも、昼と夜両方の営業をしている店舗は掲載されるが、夜のみのところは載せていない。ただ、昼間交流人口を増やすために、昼も営業してくださいと言うと、ランチタイムをやって夜も深夜までという営業は店としてもたないという反応もあり、どうバランスをとるか難しい問題である。

本 部 員 出店するにあたり、家主はランチ営業もしてほしいということで最初はランチ営業を始めるが、人件費の問題や朝から晩まで一人で営業という状況がもたずに昼間の営業をやめてしまうケースが多い。東京の方では店舗のシェアをして、ランチ営業と、夜の営業をする方が別という店もある。そういう需要を掘

り起こし、そういう店が増えると、昼間店が閉じているということも少なくなるのではないかと期待を寄せている。

本 部 員 十字屋が退店すると決まった後、入っているテナントに対し空き店舗の情報を示すことによって、何店舗かが市内に残って店を継続している実態がある。大沼デパートにおいても、テナントに空き店舗の紹介を早急にしていった方がよい。

また、県民会館が12月1日にプレオープン、まもなくグランドオープンするということで、既存の県民会館は取り壊しになる。市長にお願いとなるが、正式に県に対して、跡地をどうするか市と協議してほしいということを申し入れていただきたい。グランドデザインの中にも文翔館を核とした歴史的な拠点と書いており、その時期にきているのかなと思う。裁判所についても、同じように市としての希望、方針を先方に出していただき、その回答を早めにいただきたい。そうすることでグランドデザインが生きてくると思う。

本 部 員 テナントのサポートに関しては、エリアマネジメント協議会を通じ、また商工会議所としても会員の企業等事業所を含めて対応している。

県民会館、裁判所の件も、山形市の方針に沿って商工会議所としても一緒になって尽力していきたいと考えている。

(6) 閉 会 (山形ブランド推進課長)